

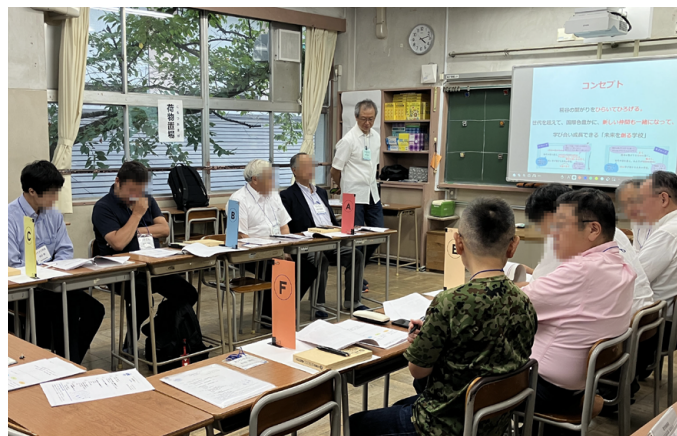
## 学校づくりワークショップ〈改築懇談会編〉 News Letter ③

### 第3回 糀谷中学校 改築懇談会を開催しました！

今回は、前回話し合った糀谷中の改築コンセプトを最終案として共有。委員のみなさんから満場一致でご賛同いただき、みんなの想いが詰まった素敵なコンセプトが決定しました！

また、いよいよ校舎配置や体育館方針も決定！ 検討した内容を委員のみなさんに報告し、各項目についてご意見をいただきました。

ワークでは地域や学校の歴史に誰よりも詳しい委員のみなさんに、学校の顔となる「各門の位置と特徴」、糀谷中学校の未来へ受け継ぎたい「記念品」をお聞きました！



■実施日時：令和7年10月8日(水)

16:00 ~ 17:30

■場 所：糀谷中学校 会議室

■プログラム

1. 開会あいさつ、本日の目標
2. 前回～本日までの経過報告
3. コンセプトの発表
4. 建築計画の説明
5. ペアワーク
6. ワーク発表&全体共有
7. まとめ
8. 事務連絡、閉会挨拶

### 改築コンセプトの発表！

改築懇談会②を踏まえ、より糀谷らしいコンセプトに決定しました！

糀谷ならではの  
夜間を活かす形の  
コンセプトでよい

糀谷らしい  
コンセプト  
になった！

「学び合い」  
がいいね！

糀谷の繋がりをひらいてひろげる。

世代を超えて、国際色豊かに、新しい仲間も一緒になって

学び合い成長できる「未来を創る学校」

このコンセプトを  
実際の空間にどう  
落とし込むか  
期待したい

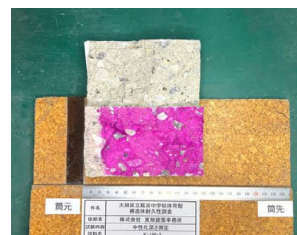
勉強以外にも様々な  
学びが生まれる  
コンセプトになった

## 建築計画の説明

### 1 体育館方針

現体育館のコンクリート強度や中性化進行度などを調査した結果、躯体が健全な状態であることを確認できました。

体育館は現在の校舎と比べるとまだ築年数が浅いため、この先も長く使えるように『**長寿命化改修**』を行い、リニューアルする方針で決定しました！



### 2 新校舎配置

新校舎の位置は複数案を比較検討し、体育館への動線が短く、校庭が整形になる『**西側配置**』に決定しました！  
現在の校舎と近い位置関係のため、中学校のみなさんはもちろん、近隣住民のみなさんにも配慮した新校舎配置とします。

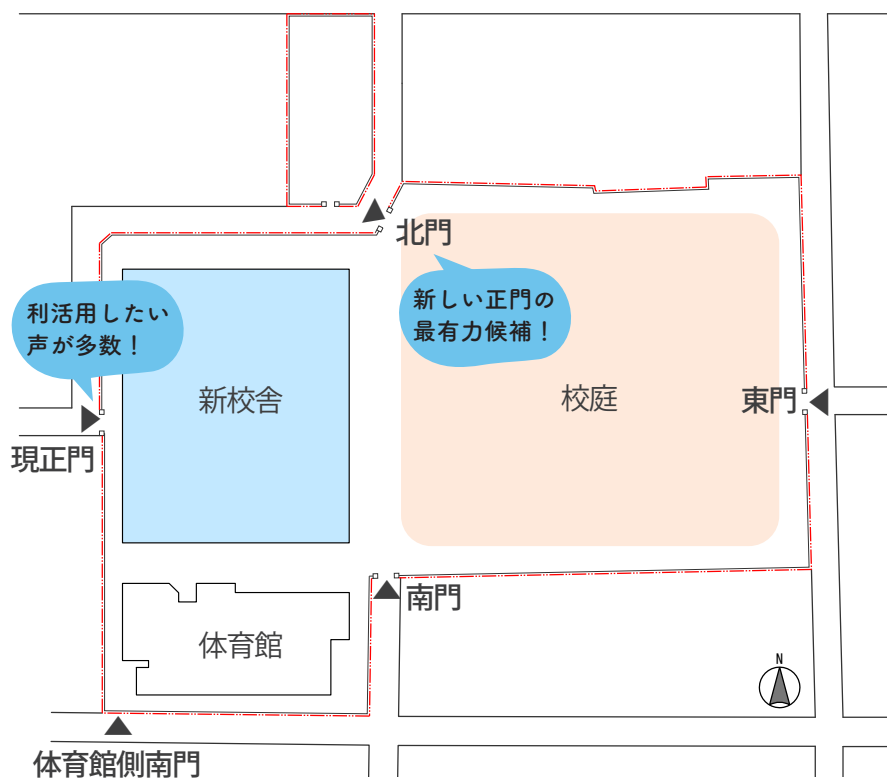
### ■設計ワークショップ運営チーム

大田区教育委員会 教育総務課施設担当：大森・井上 株式会社東畑建築事務所：高木・保科・山田・田中 まち楽房有限会社：加藤・榎原

# 「学校の顔、門の位置を考えよう！」&「一緒に引っ越す、みんなの思い出！」

決定した新校舎配置、体育館方針を踏まえ、各門の特徴付けと  
未来へ受け継ぐべき糺谷中学校の記念品などを教えてもらいました！

【門の位置】



【糺谷中学校の記念品など】



【銘板 (旗ポール)】



【書】



【南極の石】



【記念品・写真】



【ハナカイドウ】



【木の看板】



【ソメイヨシノ①】



【ソメイヨシノ②】

## 各ペアの意見

### ペア A

- 【 門 】
- ・北門を正門、南門を副門とし、昇降口を校庭側に設ければ、新校舎から校庭へ行き来しやすい
  - ・現正門は地域の門とし、地域と生徒、教職員で動線を使い分けられたらいい
- 【記念品】
- ・現正門横にあるソメイヨシノは老樹のため、伐採し、記念品などに活用できたらいい
  - ・旗ポールは劣化が進んでいるため撤去し、土台にある銘板は移設してほしい

### ペア B

- 【 門 】
- ・現正門を使用場合は、敷地西側に新しく建つマンションとの関係もよく考えた方がいい
  - ・校区南側から登校する生徒の動線に配慮して体育館側の南門を利用するのはどうか
  - ・北門はプール移動の際に使いたい
- 【記念品】
- ・現昇降口にある木の看板は新校舎に移設してほしい

### ペア C

- 【 門 】
- ・北門を正門とし、昇降口を校庭側へ設ければ、新校舎から校庭へ行き来しやすい
  - ・昇降口と校庭とのつながりを考えると、現正門を正門のまま使うのは考えにくい
- 【記念品】
- ・記念品などを正門の廻りに設置したい

### ペア D

- 【 門 】
- ・地域の思い入れがあるため現正門を利活用したい
  - ・東門は道路の交通量が多く、正門には適さない
  - ・南門を常時登校に利用する場合は近隣への配慮が必要になる
- 【記念品】
- ・木の看板を移設してほしい

## 講評

「新しい校舎へのアプローチ」と「今の糺谷中学校の思い出」について重要なヒントを教えていただける素晴らしいワークでした。それぞれの門の特徴は今後の設計を進めていく上で、新校舎へのアプローチの在り方に活かしていきたいです。みなさんご参加ありがとうございました！



東畑建築事務所・高木

ご不明な点やご意見については、  
下記担当までご連絡ください。  
問合せ先：大田区教育委員会事務局  
教育総務課 施設担当  
TEL：03-5744-1399  
mail：k-shisetsu@city.ota.tokyo.jp